

# 【千葉地域】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	市原市	品種	夢あおば
土性	壤質土	播種日	4月25日
播種量	240g/箱	移植日	5月15日(疎植)
幼穂形成期	7月5日	出穂期	8月7日
成熟期	9月18日	収穫日	9月20日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	85.6cm	穂長	21.9cm
穂数	245本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0
粗玄米重	521kg/10a	標準単収値	517kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：鶏糞
- ・施用量：700kg/10a
- ・施用時期：平成31年3月

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：11.2kg/10a ※肥料銘柄：-
- ・追肥実施日：7月14日
- ・追肥N量：2.8kg/10a ※肥料銘柄：オール14

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：5月15日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：41株/坪
- ・植付本数(4~6本/株を推奨)：3.6本/株

## 4 考察等

栽培管理のポイントに基づいた管理を行ったが、台風による倒伏等の影響によって、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥N量	9kg/10a(壤質土の場合)
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します

# 【東葛飾地域】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	我孫子市	品種	夢あおば
土性	壤質土	播種日	4月13日
播種量	230g/箱	移植日	5月12日
幼穂形成期	6月29日	出穂期	7月22日
成熟期	9月13日	収穫日	9月25日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	88.3cm	穂長	20.7cm
穂数	315本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0
粗玄米重	540kg/10a	標準単収値	516kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：10.1kg/10a ※肥料銘柄：米アップ
- ・追肥実施日：7月30日
- ・追肥N量：2.8kg/10a ※肥料銘柄：尿素

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：5月12日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：52株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：5.6本/株

## 4 考察等

生育は良好であったが、7月の日照不足により一穂粒数が少なかったことと、登熟期間が高温であったため、登熟が不良となった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥N量	9kg/10a（壤質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します

# 【印旛地域①】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	成田市	品種	夢あおば
土性	砂質土	播種日	5月6日
播種量	200g/箱	移植日	5月25日
幼穂形成期	7月19日	出穂期	8月7日
成熟期	9月24日	収穫日	10月4日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	93.0cm	穂長	21.2cm
穂数	246.7本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	4.8
粗玄米重	500kg/10a	標準単収値	542kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：乾燥鶏糞
- ・施用量：60kg/10a
- ・施用時期：平成31年4月

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：8kg/10a ※肥料銘柄：宇部高チッソー発
- ・追肥実施日：－
- ・追肥N量：－ ※肥料銘柄：－

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：5月25日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：46.5株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：3～4本/株

## 4 考察等

栽植密度及び植付本数がやや少なかったことや、台風による倒伏によって、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥N量	12kg/10a（砂質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します

# 【印旛地域②】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	印旛郡栄町	品種	夢あおば
土性	粘質土	播種日	4月7日
播種量	200g/箱	移植日	5月10日
幼穂形成期	7月1日	出穂期	7月26日
成熟期	9月20日	収穫日	9月20日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	83.0cm	穂長	20.9cm
穂数	330本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	1.2
粗玄米重	530kg/10a	標準単収値	541kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：発酵鶏糞
- ・施用量：90kg/10a
- ・施用時期：平成31年1月

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：11.7kg/10a ※肥料銘柄：飼料用米専用一発15
- ・追肥実施日：7月5日、7月12日
- ・追肥N量：1.3kg/10a、1.3kg/10a ※肥料銘柄：硫安

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：5月10日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：60株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：7本/株

## 4 考察等

紋枯病の発生及び台風による倒伏が発生し、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥N量	6～7kg/10a（粘質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します

# 【香取地域】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	東庄町	品種	アキヒカリ
土性	砂質土	播種日	3月20日
播種量	250g/箱(高密度)	移植日	4月18日
幼穂形成期	6月14日	出穂期	7月8日
成熟期	8月15日	収穫日	8月18日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	74.0cm	穂長	18.0cm
穂数	467本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0
粗玄米重	606kg/10a	標準単収値	568kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：11.7kg/10a ※肥料銘柄：飼料用米専用一発
- ・追肥実施日：－
- ・追肥N量：－ ※肥料銘柄：－

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：4月18日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：65株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：3.7本/株

## 4 考察等

紋枯病の発生や、穂ばらみ期～出穂10日後の日照不足による登熟歩合の低下によって、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥N量	9kg/10a（砂質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します

# 【海匠地域】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	匠瑛市	品種	アキヒカリ
土性	砂質土	播種日	4月5日
播種量	160g/箱	移植日	5月6日(疎植)
幼穂形成期	6月18日	出穂期	7月18日
成熟期	8月24日	収穫日	8月25日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	82.0cm	穂長	19.4cm
穂数	343本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0.8
粗玄米重	660kg/10a	標準単収値	575kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

・堆肥種類：－	・施用量：－
・施用時期：－	

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

・基肥N量：10.0kg/10a	※肥料銘柄：スーパーらくだくん早生用
・追肥実施日：－	
・追肥N量：－	※肥料銘柄：－

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

・移植日(5月中旬を推奨)：5月6日
--------------------

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

・栽植密度(55株/坪を推奨)：38.4株/坪
・植付本数(4～6本/株を推奨)：2.4本/株

## 4 考察等

ほ場の地力が高かったことにより、出穂以降も葉色が保たれ、栄養状態を適切に管理できたことにより、砂質土で疎植でも高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥N量	9kg/10a(砂質土の場合)
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します

# 【山武地域①】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	山武市	品種	アキヒカリ
土性	砂質土	播種日	3月31日
播種量	160g/箱	移植日	4月25日
幼穂形成期	6月15日	出穂期	7月10日
成熟期	8月13日	収穫日	8月20日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	72.0cm	穂長	16.9cm
穂数	507本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	2.1
粗玄米重	690kg/10a	標準単収値	559kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：8.4kg/10a ※肥料銘柄：ナポロングVFD262
- ・追肥実施日：6月14日
- ・追肥N量：2.9kg/10a ※肥料銘柄：サンライトNKV1

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：4月25日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：53.4株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：4.1本/株

## 4 考察等

幼穂形成期の低温による一穂粒数の減少があったものの、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施等により、高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥N量	9kg/10a（砂質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します

# 【山武地域②】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	山武市	品種	夢あおば
土性	砂質土	播種日	4月12日
播種量	160g/箱	移植日	5月16日
幼穂形成期	6月27日	出穂期	7月30日
成熟期	9月11日	収穫日	9月16日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	86cm	穂長	21.6cm
穂数	310.3本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	4.5
粗玄米重	624kg/10a	標準単収値	559kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：8.4kg/10a ※肥料銘柄：ナポロングVFD262
- ・追肥実施日：7月10日
- ・追肥N量：2.9kg/10a ※肥料銘柄：サンライトNKV1

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：5月16日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：54,8株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：4.1本/株

## 4 考察等

台風による倒伏があったものの、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって高い収量を得ることができた。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥N量	12kg/10a（砂質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します



# 【長生地域】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	長生郡長南町	品種	アキヒカリ
土性	粘質土	播種日	4月5日
播種量	180g/箱	移植日	4月24日
幼穂形成期	6月12日	出穂期	7月8日
成熟期	8月13日	収穫日	8月19日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	79.0cm	穂長	17.5cm
穂数	439本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0
粗玄米重	480kg/10a	標準単収値	539kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：4.9kg/10a ※肥料銘柄：飼料用米専用一発15
- ・追肥実施日：－
- ・穂肥N量：－ ※肥料銘柄：－

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：4月24日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：58.4株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：3.8本/株

## 4 考察等

栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、坪刈収量では615kg/10aと高い収量を得ることができた。収量が低いほ場があったため、実収量は低くなっている。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥N量	4kg/10a（粘質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します

# 【夷隅地域】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	いすみ市	品種	アキヒカリ
土性	壤質土	播種日	4月27日
播種量	160g/箱	移植日	5月23日
幼穂形成期	7月9日	出穂期	8月5日
成熟期	9月16日	収穫日	9月25日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	83.1cm	穂長	18.9cm
穂数	475本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	1.5
粗玄米重	540kg/10a	標準単収値	531kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：鶏糞
- ・施用量：150kg/10a
- ・施用時期：平成31年3月

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：7.8kg/10a ※肥料銘柄：くみあい飼料用米一発
- ・追肥実施日：5月23日（追加基肥）
- ・追肥N量：3.9kg/10a ※肥料銘柄：くみあい飼料用米一発

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：5月23日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：60株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：5本/株

## 4 考察等

栽培管理のポイントに基づいた管理を実施したが、日照不足の影響があり、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥N量	6kg/10a（壤質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します

# 【安房地域】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	南房総市	品種	夢あおば
土性	壤質土	播種日	3月17日
播種量	160g/箱	移植日	4月20日
幼穂形成期	6月17日	出穂期	7月15日
成熟期	8月23日	収穫日	8月25日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	91.9cm	穂長	22.4cm
穂数	395.2本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0.4
粗玄米重	473kg/10a	標準単収値	503kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：14kg/10a ※肥料銘柄：高度化成14
- ・追肥実施日：6月7日
- ・追肥N量：4.6kg/10a ※肥料銘柄：尿素

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：4月20日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：55株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：3本/株

## 4 考察等

7月中旬の低温と、紋枯病の発生によって、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥N量	9kg/10a（壤質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します

# 【君津地域】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	袖ヶ浦市	品種	アキヒカリ
土性	砂質土	播種日	3月14日
播種量	153g/箱	移植日	4月13日
幼穂形成期	6月10日	出穂期	7月6日
成熟期	8月11日	収穫日	8月11日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	80cm	穂長	17.4cm
穂数	455本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	1.8
粗玄米重	600kg/10a	標準単収値	565kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：11.7kg/10a ※肥料銘柄：飼料用米専用一発15
- ・追肥実施日：－
- ・追肥N量：－ ※肥料銘柄：－

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：4月13日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：50.2株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：4.6本/株

## 4 考察等

中干しの遅れにより過繁茂となったことと、その後の入水の遅れによって、有効茎歩合や一穂粒数が低下したため、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥N量	9kg/10a（砂質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します